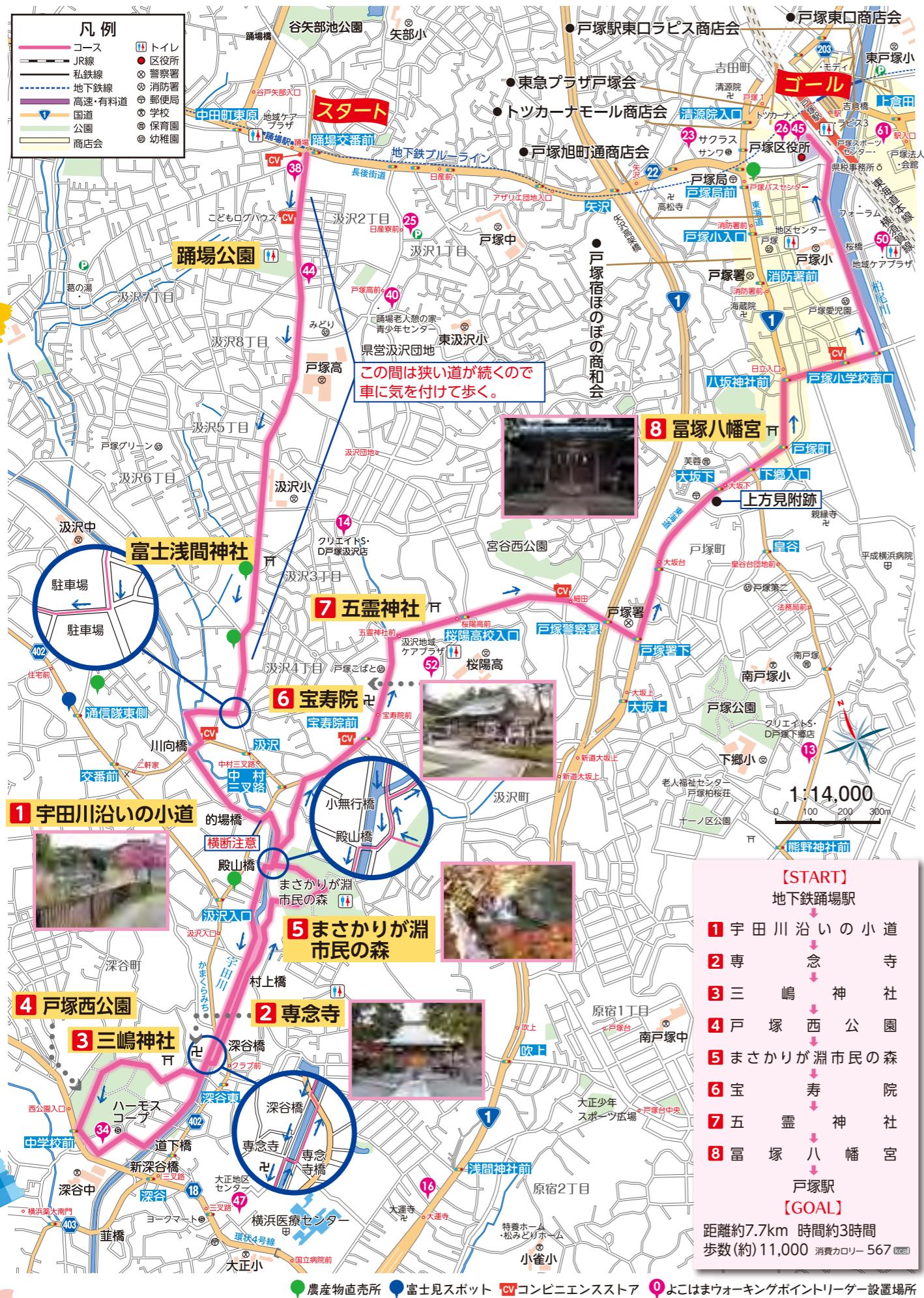


# 汲沢コース (汲沢の緑と神社・寺を訪ねて)



## 1 宇田川沿いの小道 桜

川向橋から宇田川沿いに、約250mの小道が続いている。下流には市民の森「まさかりが淵」の滝があり、清涼感にあふれている。

## 2 専念寺 (浄土宗深谷山専念寺) 銀杏

鎌倉時代に鎌倉権五郎景正の祈願所として建立された。本尊は深谷目薬師で、目の治療に靈験あらたかとして伝えられ、12年毎に開扉し、一般に公開されている。

## 3 三嶋神社 モミノキ、スダジイ

文治年間(1185~89年)に梶原景時が創建し、景時の祖鎌倉権五郎景政の神靈を祀り、祭神は伊豆三島明神を勧請している。境内には、市の名木に指定されているモミノキやスダジイがある。

## 4 戸塚西公園 竹、桜

なだらかな丘陵地の中に、ローラースケート台やロープ渡りがあり、子ども連れが楽しめる公園。広場では、ゲートボールを楽しむ人の姿もある。

## 道案内

信号「踊場交番前」の踊場交番とコンビニの間の道を進む。道は狭いので、車に気を付けて歩く。歩いて約300mで踊場公園。所々に歩道があるが、道は全般的に狭い。汲沢小学校を過ぎていくと左手に小さな富士浅間神社がある。信号「汲沢」の手前110mの右手側に駐車場があるので、右折し、その間の道を進む。突き当たりの汲沢御所水公園に入り、宇田川沿いを左に進む。一般道に出たら右折。川向橋の先の横断歩道を渡り**1 宇田川沿いの小道**を進む。程なく一般道に出る。左右から来る車に注意して横断歩道を渡ると、まさかりが淵の入口。川沿いを進み、小無行橋を渡り、すぐ右の殿山橋を渡り左折して川沿いを進む。左側にある一つ目の階段を下るとまさかりが淵の滝が見える。小道に戻って進み、一般道に出たら深谷橋を渡って横断歩道を渡る。赤い専念寺橋を渡ると、正面が**2 専念寺**。専念寺を出て右折し川沿いを約60m進むと右手に三嶋神社入口の石柱。階段を上ると**3 三嶋神社**。神社の鳥居を出てすぐ右折。突き当たりを右折し両側が竹林の道を上ると**4 戸塚西公園**の広場。広場を横断し、四阿(あづまや)の左の舗装された道を進むと、すぐに緩やかな下りになるのでそのまま階段を下る。その先に深谷側の出口があり、目の前がスーパーの駐車場。左右を確認して車道を渡り、道なりに進むと左手にスーパーの入口。スーパー横の駐車場を通り、突き当たりの車道を右折、道下橋手前を左折、川沿いに進む。専念寺まで戻り、先ほどの赤い小さな専念寺橋を渡りすぐ左折。車に注意して一般道を横断、そのまま川沿いに直進して**5 まさかりが淵市民の森**に入る。途中、まさかりが淵の滝を左手に見ながら進むと、右に森に入る階段があり、上るとそこが淵の上広場。広場から左に下っていくと、真っすぐに進む車止めのある道と左に下る道の分岐点に出るので左の道を行き、下ると右に宇田川に架かる先程の小無行橋。橋を渡らず右に進むと程なくミラーのある突き当たりに出るので、左折しそう右折。バス通りの広い道に出たら右折する。一つ目の信号を左に渡ると**6 宝寿院**(正門ではなく、少し先のバス停のあたりから中に入れる)。宝寿院から約320mで**7 五霊神社**。五霊神社から道なりに進み、国道1号線を横断し、そのまま坂を下って次の信号「戸塚警察署下」を左折する。戸塚土木事務所の前のコンビニ前に上方見附跡の碑がある。そのまま進むと左手に**8 富塚八幡宮**。少し進み「八坂神社前」の信号を直進し右折、柏尾川に出たら左折。川沿いの遊歩道をそのまま進むと戸塚駅西口。

## 5 まさかりが淵市民の森 梅、桜、紅葉

民話に残る宇田川「まさかりが淵」の滝を中心とする森で、散策路の距離は約1km。

子ども広場・多目的に使える淵の上広場などがある。



## 6 宝寿院 (真言宗大覚寺派の寺) 枝垂れ桜、銀杏

樹齢百年になる枝垂れ桜は美しい花を咲かし、市の名木に指定されている。山門近くの銀杏は晩秋には見事な黄葉となる。



## 7 五霊神社 スダジイ

鬱蒼とした鎮守の森に囲まれた神社。境内には、市の名木に指定されているスダジイの古木等があり、階段途中には、延宝年間(1673~81年)の道祖神等もある。



## 8 富塚八幡宮

戸塚の総鎮守。社殿後方に古墳があり、これを富塚と称したことから、この地が戸塚と呼ばれるようになったと言われている。階段下に、芭蕉の「鎌倉を生きて出でけむ初松魚」の句碑がある。

